

2007 第3回東大本番レベル模試 優秀答案

第3問 (徳島県 K 君の答案)

B 享保の改革において農民からの税収入は限界に達していたため、田沼意次は**重商主義への転換**を図った。すなわち享保の改革で奨励された**株仲間の結成を積極的に奨励**し、**朝鮮人参座の結成**や**知識人の登用**など朝鮮人参の国産化を目指したり、**資金不足だった印旛沼干拓を商人からの資金で進める**など、**国内産業の振興**を図った。

R

2+3+1+1+1+1+2+ R1=12 10点

コメント

本問を見直しておくことは大切である。

ポイントはふたつ。まず、近世政治史の構造に直接かかわる点では、**田沼政治の特徴を「享保の改革との関連」で把握していたかどうか**。これは、基本に属する事項である。次に、問題の要求に正確に答えるという点で、あれこれの諸政策を列挙して終わるのではなく、「諸政策のもつ特徴」を明示したかどうか、いいかえると、物事の理解にあたって、あなたが常に**統合的であろうとしてきたかどうか**。これも、とりわけ東大の論述問題にとりくむ際には、もっとも重大な基本に属する態度だといってよいだろう。

ここに示した答案例は、双方のポイントを着々とクリアすることに成功している。この水準であれば、東大の採点者(出題者)にも好印象を与えられるはずだ。本番に向けて、“**基本**”を**みつめなおす**ようあらためて強調しておきたい。